

<2030年のSDGs達成に向けた経営方針と目指す姿>

地域の安全安心をまもり、さらなる地域の持続可能な発展に貢献するため業務に取り組むとともに、経験豊富な人材と培った高い専門技術力を駆使し、誠意と熱意をもって上質な製品とサービスを提供することで、すべてのステークホルダーに信頼される企業を目指す。

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標>

三側面 (分野に☑)	SDGsに関する重点的な取組み	指標 (更新時に向けた数値目標)
☒ 環境 ☐ 社会 ☐ 経済	【社内の二酸化炭素排出量の削減】継続して前年比1%減を数値目標とする	2023年3%減→2026年6%減
☐ 環境 ☒ 社会 ☒ 経済	【ICT技術の積極的導入と人材の育成】現状の講習団体制度は令和7年12月5日をもって廃止となるため、2等無人航空機操縦士の資格取得が必要となる	2023年講習団体制度認定資格2名→2026年2等無人航空操縦士3名
☐ 環境 ☒ 社会 ☒ 経済	【働きやすい職場環境づくり】毎週水曜日にノー残業デー実施	2023年～2026年は1年間の毎週水曜日で80%以上の実施

<パートナーシップ>

当社では、協力会社とのコミュニケーションを軸に、技術開発、安全管理、品質管理、環境保全などを通じて生産性の向上に取組み、共にパートナーとして成長発展していくことを目指す。
また、ワーク・ライフ・バランス推進のため、完全週休二日制やウィークリースタンス等に積極的に取り組むなど働きやすい職場環境の整備を図る。

・「SDGsに関する重点的な取組み」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取組みを記載してください。なお、取組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。
・「指標(更新時に向けた数値目標)」には、それぞれの取組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、更新時までの数値目標を記載してください。
・「パートナーシップ」には、企業やNPO法人、行政など関係機関との連携を記載してください。

<SDGsに関するこれまでの重点的な取組み及び指標に係る進捗状況>

三側面 (分野に☑)	取組みの状況	前期の指標	実績
☒ 環境 ☐ 社会 ☐ 経済	【社内の二酸化炭素排出量の削減】令和2年7月豪雨で2021年に前年を上回ったが、最終2023年では97%と3年間で3%減の目標達成	【二酸化炭素の年間排出量】2020年→2023年(前年度比1%削減)	2020年～2023年で3%削減目標達成
☐ 環境 ☒ 社会 ☒ 経済	【ICT技術の積極的導入と人材の育成】資格取得費用が高価であることと受験者の確保が困難となり、2023年時点で2名となり目標未達成	【無人航空機操縦技能資格取得】2020年(1人)→2023年(4人)	2023年時点で2人で目標未達成
☐ 環境 ☒ 社会 ☒ 経済	【働きやすい職場環境づくり】ノー残業デーは毎週水曜日に設定しており、4月～9月の半年間において目標の80%以上は達成できた	【ノー残業デーの設定(4～9月)】2021年(6月予定)→2023年(80%)	2020年～2023年の各年で80%の目標達成

・「取組みの状況」には、前回登録申請した際の重点的な取組みの実施状況や指標の達成状況を記載してください。指標が未達成の場合は、その理由等も記載してください。